

(第2号様式)

前原 第2561号
令和6年3月19日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立前原学校
校長 宮城 敏也
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和5年7月24日	本校会議室	職員6名、学校評議員2名
第2回	令和5年12月21日	本校会議室	職員6名、学校評議員2名
第3回	令和6年3月18日	本校会議室	職員6名、学校評議員4名

2 学校評議員に求めた事項

- ・学校教育目標や経営目標に関することについて
- ・学校行事等の教育活動に関することについて
- ・進路指導、生徒指導に関することについて
- ・学校の現状についての認識と期待することについて
- ・学校評価の結果からみえる課題や意見について

3 学校評議員の意見

- ・外部コーチを高校も利用した方が良いと思う。
- ・子供の貧困について何かできることはないか。
- ・子どもの心身の健康、交通安全について継続的に職員と保護者で情報発信し、相談しやすい体制(カウンセリングの活用、SOSの出し方)を作って欲しい。
- ・弁当販売を職員に負担をかけずに導入する方法はないか
- ・制服は、気候・天気に合わせてやっていくことを要望する。
- ・生徒指導も難しくなっていると思うが、職員から意識を変えていくとうまくいうのではないか。要望にすべて応えるという意味ではないが、自己指導能力を育てるためには、教師側の意識がとても大事と思う。
- ・バイク運転の許可だけは、遠慮してほしい。盗難、貸借等いろいろなトラブルが心配である。
- ・私たちのときは校則はもっと厳しかった。こんなにゆるくなっているのかという懸念もある。

4 学校運営に反映した事項

- ・外部コーチは現在12名おり、そのうち2名は、県の事業である部活動指導員である。
- ・子どもの貧困は、慎重に対応したい。職員には、フードバンク等の協力依頼を呼びかけている。
- ・緊急時は、本校配置のスクールカウンセラーの時間増を県に申請して対応している。
- ・弁当販売の考えを生徒に全体集会等を通して伝えている。
- ・校則の見直しについては、職員の考えや方向性を話し合っている。生徒と保護者代表との意見交換会を実施した。

5 課題その他

- ・総合スポーツコースの受検者は、増えてるのに部活加入率は減っているのはなぜか。
- ・前原高校がマスコミ等に取り上げられて、頑張っていることがわかる。とても好感が持てる。
- ・学校に来た時に生徒が校門から出るときに校舎に向かって一礼して下校する生徒がいた。良い方向に学校が変わったと実感する。素晴らしい。
- ・学校の「働き方改革」における行事の精選については、学校だけの視点ではなく、地域の視点も含めて検討する必要があるのではないか。
- ・進路指導において、「どこでなにをまなびたいか」という指導も必要ではないかと考える。
- ・疑問に思ったこと等、生徒は「なぜそうしないといけないのか」まで考えてほしい。「校則だから…」の先に、答えが見えてくるものもあると思う。